

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●佐々木竹見カップに戸崎圭太騎手と坂井瑠星騎手が参加

2月4日(火)に川崎競馬場で行われる「第22回佐々木竹見カップジョッキーズグランプリ」に、戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)と坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)が参加することとなりました。同レースには中央・地方のリーディング上位騎手(中央2名・地方12名の計14名)が招待され、2レースで腕を競います。

●永島まなみ騎手が国際騎手招待競走に出場

現地時間2月21日(金)、サウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で行われる「インターナショナルジョッキーズチャレンジ」に永島まなみ騎手(栗東・高橋康之厩舎)が出場することとなりました。同競走には世界各国を代表する騎手14名が参加し、4レースの成績によって順位を決定。優勝者には3万米ドルが与えられます。

●ナミュールらの競走馬登録抹消

2023年マイルチャンピオンシップ(GⅠ)などの勝ち馬ナミュール(牝5歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算16戦5勝・海外2戦0勝)、2023年中山記念(GⅡ)などの勝ち馬ヒシイグアス(牡8歳/美浦・堀宣行厩舎/JRA通算19戦7勝・海外3戦0勝)、2020年デイリー杯2歳S(GⅡ)の勝ち馬レッドベルオーブ(牡6歳/栗東・河嶋宏樹厩舎/JRA通算25戦3勝)、2023年ターコイズS(GⅢ)の勝ち馬フィアスプライド(牝6歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算21戦5勝)は、2024年11月29日(金)までに競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。ヒシイグアスは中山競馬場で乗馬、レッドベルオーブは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、ナミュールは北海道安平町のノーザンファーム、フィアスプライドは北海道日高町のダーレー・ジャパン・ファームでそれぞれ繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●新春ベガサスCは無敗馬カワテンマックス【各地の主要3歳重賞】

新春ベガサスC(1月16日、名古屋、1700m)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立ったゴールドウイング賞の覇者カワテンマックス(牡、父ドレフォン)が、一旦後続に並ばれながらもクビ差振り切り、単勝1.3倍の支持に應えてデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。兵庫クイーンセレクション(1月23日、姫路、1400m、牝馬)は、3番手から3、4コーナー中間で抜け出した単勝1.6倍で断然人気の高知からの遠征馬ドライブアウェイ(父フォーウィールドライブ)が、2着馬に1秒8の大差を付けてネクストスター高知に次ぐ重賞勝ち。花吹雪賞(1月26日、佐賀、1800m、牝馬)は、最後方から追いつけた3番人気のプレミアムカインド(父ナダル)が、単勝1.3倍で圧倒の人気のハクアイアシストとの競り合いをクビ差で制し、初の重賞制覇を果たしています。

●2月6日の佐賀記念(佐賀)で連覇を狙うノットウルノ

佐賀記念(JpnⅢ、2月6日、佐賀、2000m)は、59頭でも昨年の覇者ノットウルノが中心、クラウンブライドが続ぎ、以下デルマソトガケ、グロリアムンディ、メイショウフンジン、シルトブレ(佐賀)、シンメデージー(高知)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●エクリプス賞～年度代表馬にソービドアナ

北米競馬の年度表彰であるエクリプス賞の受賞人馬が現地1月23日に発表されました。2024年の年度代表馬に輝いたのはソービドアナ(牝、2021年生、父ファストアナ、米K.マクピーク厩舎)。満票となった最優秀3歳牝馬とのダブル受賞となりました。ソービドアナは昨年7戦してブリーダーズCディスタフ(ダート1800m)、ケンタッキーオークス(ダート1800m)、エイコーンS(ダート1800m)、CCAオークス(ダート1800m)、コティリオンS(ダート1700m)と5つのGⅠを含む6勝。唯一の敗戦は牡馬に挑んだGⅠトラヴァーズSで、フィアースネスのアタマ差2着でした。今年も現役を続行する予定です。

●GⅠジェベルハッタ～ロマンチックウォリアーがGⅠ・10勝目

1月24日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたGⅠジェベルハッタ(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、芝1800m)は、香港から遠征したロマンチックウォリアー(騾7歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)がJ.マクドナルド騎手の手綱で8頭立ての3番手追走から直線で抜け出すと、GⅡザビルマイルを勝って臨んだポーカーフェイスに4.51馬身差をつけて快勝。連勝を8に伸ばすとともに、GⅠ・10勝目を挙げました。勝ちタイムの1分45秒10はコースレコードです。